

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公表番号】特表2002-532498(P2002-532498A)

【公表日】平成14年10月2日(2002.10.2)

【出願番号】特願2000-588174(P2000-588174)

【国際特許分類】

C 07 D 413/04 (2006.01)

A 61 K 31/5395 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 9/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 413/04

A 61 K 31/5395

A 61 P 9/00

A 61 P 9/04

C 07 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月4日(2006.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(-) - 5 , 6 - ジヒドロ - 5 - [(1 - ピペリジニル) - メチル - 3 - (3 - ピリジル) - 4 H - 1 , 2 , 4 - オキサジアジン (10⁻⁶ M) によるラット心臓の灌流は、そのラセミ化合物、(+) 鏡像異性体およびラセミ化合物、または S H 対照と対照的に、10 分間の全体的虚血の後、内皮性機能を保存した。

自発性高血圧ラットにおける心筋梗塞

梗塞の誘発

グリズウォルド(Griswold)ら(J. Pharmacol. Methods 1988, 20: 225~235)に従って、主な左冠状動脈の一時閉塞により、心筋の虚血を誘発した。ナトリウム・ペントバルビタール(60mg/kg、腹腔内)で、S Hラットに麻酔をかけた。気管切開術の後、小さい齧歯動物のための呼吸マスク(モデル:ハーヴィード552)によって、正常なpO₂、pCO₂、およびpHパラメータを維持するために、1,5~2ml/100gの一回拍出量で、55ストローク/分の割合で、それらの動物を室内の空気で換気した。右側の動脈にカテーテルを挿入し、前置増幅器(Hg-O2D イクスペリメトリア;登録商標)によって左心(systemic)動脈血圧(BP)の測定のために圧力ransデューサ(P236B ステサム(Stetham))に接続した。心拍数(HR)は、心拍タコメーター(HR-01、イクスペリメトリア;登録商標)で測定した。皮下のスチール針電極によって、心電図(ECG基準リードII)をデバイス記録計(ER-14、マイクロメド(Micromed;登録商標))上に記録された。胸部を左の開胸術によって開け、穏やかな圧力によって心臓を右面胸郭上に体外に出した。主な左冠状動脈の下に、4/0絹結紉糸を迅速に配置した。心臓を胸部内で取り替え、その動物を回復のために放置した。直腸温度をモニターし、37℃で一定に維持した。15分間の安定化期間(その間ににおける9.3kPa(70mmHg)未満の持続した血圧および/又は不整脈の発生の観察は、除外に至る)で、この実験を開始した。1時間の冠状動脈閉塞により心筋虚血症を

誘発させ、再灌流を1時間与えた。閉塞の6時間前に、薬物を経口投与した。